

「IoTを用いた屋外広告物の劣化状態を常時遠隔監視するサービス」 **MCPC award 2022** サービス&ソリューション部門「最優秀賞」を受賞!!

このたび、都産技研（東京都立産業技術研究センター）と共同研究を実施した朝日エティック株式会社が、**MCPC award 2022**※サービス&ソリューション部門 **最優秀賞**を受賞しました。また、株式会社Area Japanは、都産技研との共同研究の成果に基づいて新しくNEXCO中日本サービス株式会社と開発した「IoTを活用した社員健康・労務管理サービスシステム」で、同賞**ユーザー部門 特別賞**を受賞しました。

※ MCPC award 2022（主催：モバイルコンピューティング推進コンソーシアム、後援：経済産業省・総務省他）とは、モバイルシステムの導入によりIoT/AI分野での「業務効率化」、「社会貢献の推進」等の成果を上げた事例を顕彰する制度。（詳細は、コンソーシアムHP<<https://www.mcpc-jp.org/>>を参照）

受賞企業・受賞内容

**サービス&ソリューション部門
最優秀賞**
朝日エティック株式会社



【IoTによる屋外広告物安全管理サービス】

看板などの屋外広告物の安全を守るため、IoT技術を利用して、10年以上の長期間、常時監視するシステムを開発。看板の傾きや振動、看板内の明るさを検知し、事故防止につなげます。詳細な技術内容は別紙1をご覧ください。

ユーザー部門 特別賞
NEXCO中日本サービス株式会社
/株式会社Area Japan



【IoTを活用した社員健康・労務管理サービスシステム】

育児支援として心拍数、体表温度などを把握し子供を見守るシステム。これを、夜間1人で勤務する職員のバイタルチェックに転用しました。本システムのもととなる育児支援システムは別紙2をご覧ください。

都産技研では、中小企業の5G・IoT・ロボット普及促進事業の一環として、IoTや、ロボット、次世代通信に関する製品開発や事業化を支援するため公募型共同研究を実施しています。

【お問い合わせ】

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

IoT技術グループ

企画部経営企画室

大原 衛

大久保 一宏

TEL 03-5530-2286

TEL 03-5530-2521

FAX 03-5530-3070

FAX 03-5530-2536

<https://www.iri-tokyo.jp/>

サービス&ソリューション部門 最優秀賞 【IoTによる屋外広告物安全管理サービス】

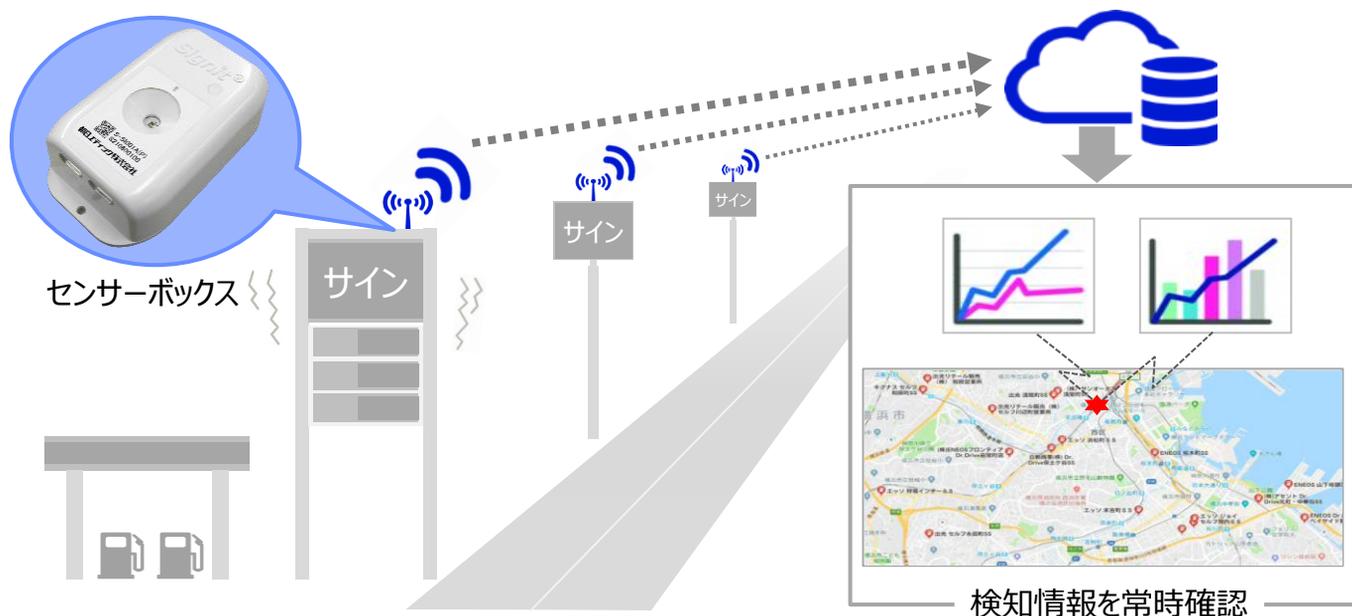
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター(以下、都産技研)と朝日エティック株式会社は、IoT技術を用いて看板などの屋外広告物の劣化状態を長期間にわたり常時遠隔監視するシステムを開発しました。朝日エティック株式会社では、2022年2月より、本システムを用いた「IoTによる屋外広告物安全管理サービス **Signit[®]** (サインitt)」を販売開始しています。

◆IoTによる屋外広告物安全管理サービスの概要◆

屋外広告物は、長期間屋外にさらされることによる劣化や破損などが発生しますが、メンテナンスが適切に行われず、損傷後もそのまま放置され、安全性や機能が損なわれるという問題がありました。これらの問題を解決するため、**屋外広告物の状態を10年間以上、常時遠隔監視できるサービスとして「Signit[®]」を開発しました。**

Signit[®]は、看板の傾きや振動、看板内の明るさを検知するための各種センサー（傾斜センサー、振動センサーや光センサーなど）を組み込んだ低消費電力の電池内蔵の小型センサーボックスから、LPWA(※)通信でデータをクラウドに送ることで、劣化状況を把握するとともに、大きな傾きや振動を検知した際には関係者にアラートメールを送信し、予防保全による事故防止につなげます。

(※)Low Power Wide Area: 低消費電力で広範囲に到達可能な通信方式



【サービスに関するお問い合わせ】朝日エティック株式会社

技術開発センター
サービス紹介URL

島本 裕己 TEL 03-3234-1681 FAX 03-3265-6059
https://go.etic.co.jp/sign_it/release

<https://www.iri-tokyo.jp/>

ユーザー部門 特別賞

【IoT を活用した社員健康・労務管理サービスシステム】

【受賞したシステムの内容】

夜間に1人で勤務している社員にウェアラブルバンドを着用させ、業務中のバイタル情報（「脈拍」「血圧」「呼吸」「体温」）の可視化を図るシステム。また、ウェアラブルバンドから得られる情報の中から、社員の健康管理や労務管理に必要な項目を使って2次解析を実施し、各社員の健康管理やウェルビーイング（健康的・幸福な状態であること）の向上につなげるものである。

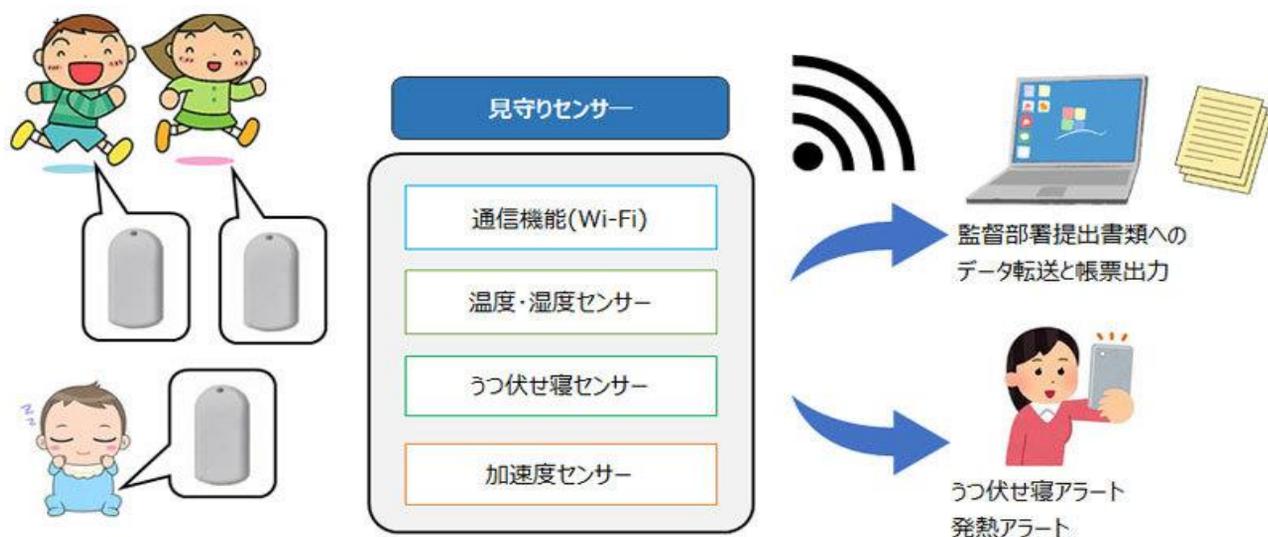
受賞したシステムのもととなった都産技研との共同研究による開発内容

IoTを駆使した総合的な育児支援システム

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター(以下、都産技研)と株式会社Area Japanは、IoT技術を用いて**乳幼児のうつ伏せ寝の状態や心拍数、体表温度などを把握できる見守りセンサーと、保育園などでセンサーを付けた園児の状況を監視できるシステムを開発。**

◆IoTを駆使した総合的な育児支援システムの概要◆

温・湿度センサー、加速度センサーや方向検知センサーなどを組み込んだ乳幼児向け見守りセンサーを共同開発し、Wi-Fi経由でセンサーが取得した情報を送信し、対象者の体表温度や午睡検知、呼吸検知を、フル充電した時点から8時間監視できるようにしました。このセンサーを乳幼児に付けてもらい、うつ伏せ寝になったらアラームを表示したり、基準の温度より高い場合にアラーム表示するなどが可能で、また体表温度の時間経過を所定のフォーマットで出力するシステムも構築しました。



【サービスに関するお問い合わせ】株式会社Area Japan

代表取締役
サービス紹介URL

神田 真邦 TEL 03-5532-5654 FAX 03-5532-5655
<https://areaipn.com>

<https://www.iri-tokyo.jp/>